

令和7年度 福井県介護職員負担軽減支援事業補助金（障がい福祉分野）を利用し、
 移乗介護ロボット「床走行リフト マキシツイン低床」を導入しました。
 利用者支援の向上、職員の業務負担軽減に役立っています。

納入日：令和7年10月30日（木）
 納入場所：九頭竜ワークショップ しずかの郷
 納入品名：いうら 移動式リフト
 納入台数：1台

1. 納入物品



2. 操作説明



3. 効果測定

(1) 1件当たりの平均処理時間

ロボット未使用時：15分 → ロボット使用時：18分

(2) 1件当たりの対応人数

ロボット未使用時：2人 → ロボット使用時：1.2人

(3) 得られた効果

- ①身体の大きい、こわばりが強い、緊張・拘縮がある利用者の移乗については、一人介助では安全に行えず、二人介助で行っていた。また、移乗時に利用者が動いた場合、転倒しない様に職員は力むため、痛がる利用者がいた。導入後は、一人でも安全に移乗が行える様になったと共に、時間調整せずに移乗介助出来るようになった。(業務効率が向上した)
利用者より、移乗介助が「楽になった」、「安心できる様になった」との感想があった。
- ②移乗介助に於ける職員の身体的負担が軽減されたためか、腰痛を訴える職員が減った。